

人が集まる、人で賑わう **ロボット** **AI** **モビリティ**

smart building

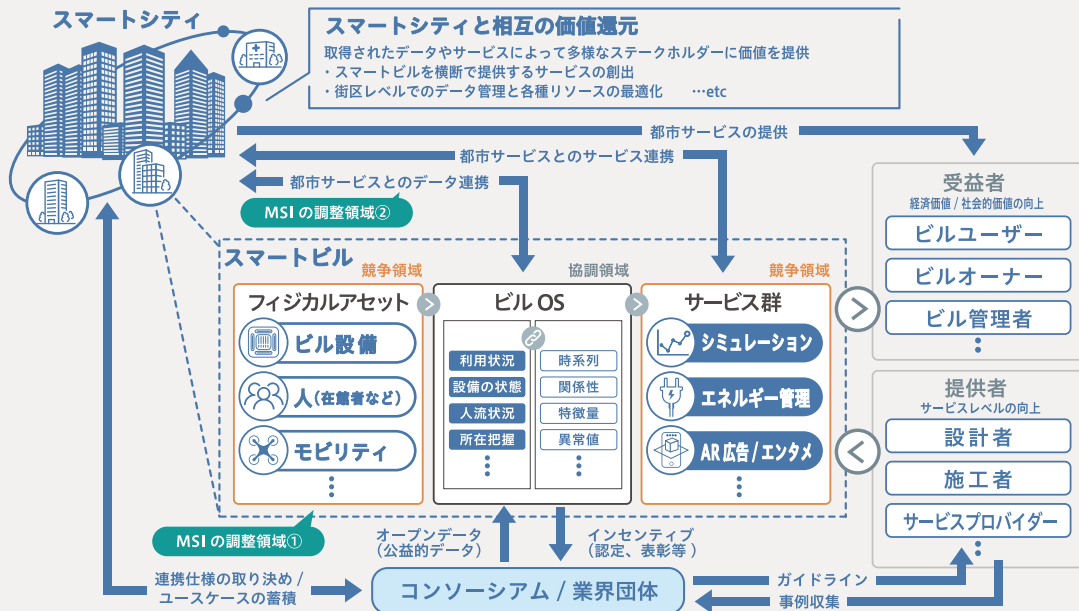
ロボティクス、AI を活用したスマートビルディングは、ビル管理の省人化を実現し、人間の作業負担を軽減することが可能となる。地域や世界とつながるモビリティやデジタル技術を連携させることで、生産性を高め、人々がやるべきことが実現できる。

ビルの管理

アクティビティ

地域とつながる

スマートビルの社会普及コンセプト



[スマートビルの定義]

①

ビル内外のアセットを組み合わせ、提供可能な機能を拡張し、新たなサービスの創出や追加を行う。

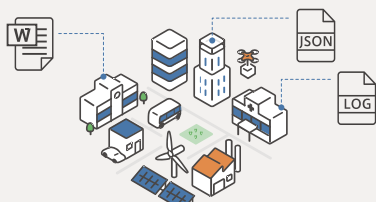
②

抽象化されたアセットを基にサイバーフィジカルシステムを実現し、データドリブな制御を可能とする。

③

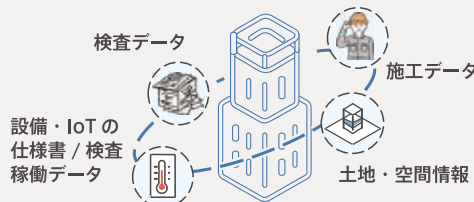
ビル間協調を典型とした外部アセットとの連携により、街の構成要素としてより広域にサービスを提供可能にし、多くの関係者に継続的な価値向上をもたらす。

データのオープン化



エネルギーデータなどについて原単位の計算と匿名化を行い、オープンデータとして公開する。スマートビル研究の活性化、ビルに関する各指標 (LCC等) の精緻化、データドリブな設計・運用を実現する。

データ連携の標準化



データを標準化することで建築設備検査、消防検査の自動化・効率化を実現する。各種自動化に向けて必要な規制緩和を検討し、デジタル行財政改革会議・テクノロジーマップへ提言する。

Ouranos Ecosystem



経済産業省とIPAが連携し、業界横断のデータスペース「Ouranos Ecosystem」を推進する。スマートビルは Ouranos Ecosystem のドメインの一つとして位置付けられ、オープンなデータ連携を目指す。

スマートビルガイドライン



スマートビルの価値向上と普及を目的にスマートビルの定義やシステムアーキテクチャ、構築運用プロセスなどを示した4つのガイドラインを発行しました。



スマートビル将来ビジョン検討会



スマートビルの普及に向けた今までの検討結果は検討会資料および YouTube にて確認いただけます。



コンソーシアムについて

スマートビルの普及によってデータ利活用を促進する新たな産業を創出し、サイバーとフィジカルが高度に融合した人間中心の社会 (Society5.0) の実現を目指す。そのためのアーキテクチャと協調領域を確立することで、業界のデジタル化を推進し魅力向上を行うとともに、産業振興や国際競争力の向上を図る。

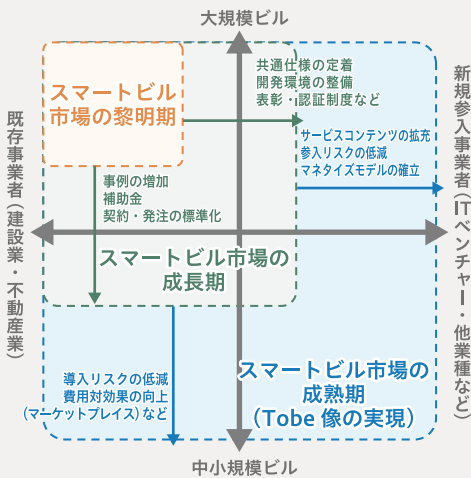
コンソーシアムの基本理念

- 01 先端テクノロジーの導入
- 02 業界の利害調整に志向せずスマートビルのあるべき姿を追求
- 03 自由でオープンな意見交換の場
- 04 データガバナンスの視点に基づいた意思決定
- 05 デジタル完結の実践と共通プラットフォームによる業務最適化

コンソーシアムの目標

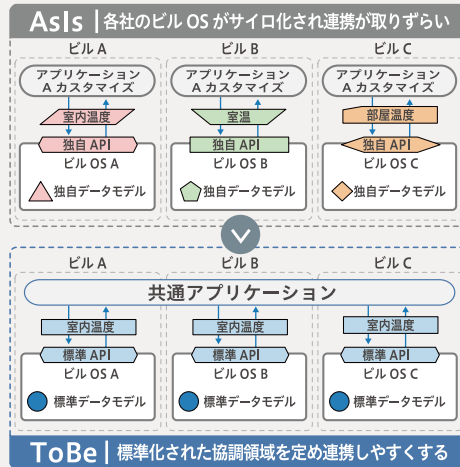
- 01 業界の利害調整に志向せずスマートビルのあるべき姿を追求
- 02 スマートビルのエコシステムの構築 (データ、ツール整備など)
- 03 先端テクノロジーの導入
- 04 スマートビル関連事業の創出 (MSI、助成・委託事業ほか)
- 05 データモデルの標準・デファクト化による国際的リーダーシップの発揮

スマートビル市場 < ターゲット >



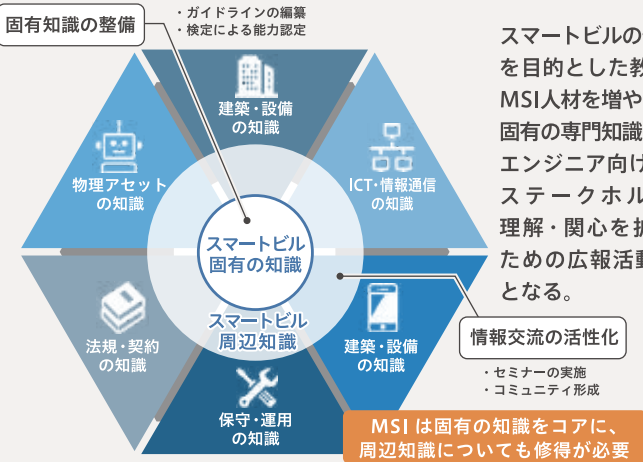
ビジネスモデル、経済性試算、システム構成・フローなどの詳細検討を行うユースケースについて、まずはスマート化の需要が大きい大規模ビルを対象に詳細検討を進める。

協調領域の必要性



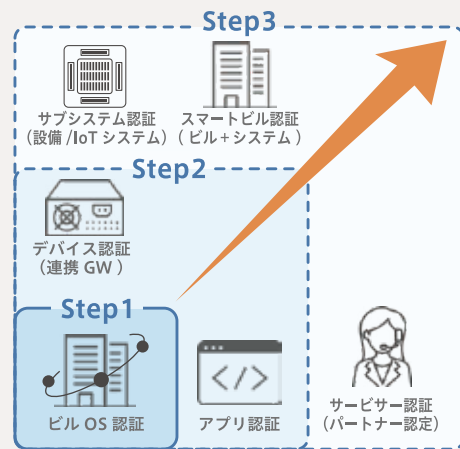
協調領域としてビル OS の標準 API や標準データモデルを規定することで、アプリケーションの共通化や、様々なデータの横断的な利活用を実現し、新しいサービスを創り易くする。

必要な知識と MSI の教育



スマートビルの普及促進を目的とした教育には、MSI人材を増やすための固有の専門知識に関するエンジニア向け教育と、ステークホルダーの理解・関心を拡大するための広報活動が必要となる。

スマートビル認証の方針



ガイドラインに基づいたスマートビルを具現化できているかを認証の判断項目とする。機器やシステムに依存しないデータ流通を担保し、効果を発揮できる機能を認証する。

DADC の取り組み

DADC は、新たな社会システムの構築において総合的な信頼性等の確保と日本の産業競争力の強化を図る政府方針の下で以下に取り組み、Society 5.0 時代の新たなデジタル市場基盤の構築において中心的な役割を果たします。右記の取組みを国際的な協力・連携の下で行うことにより、世界の課題解決にも貢献し、人を中心とした自由で信頼ある国際社会の発展に貢献する。こうした取組みにより、Society5.0 時代の新たなデジタル市場基盤の構築において中心的な役割を果たす。

DADC 関連 SNS



X (旧 Twitter) @ipa_dadc



Facebook ipa.dadc



YouTube @dadc-pr

